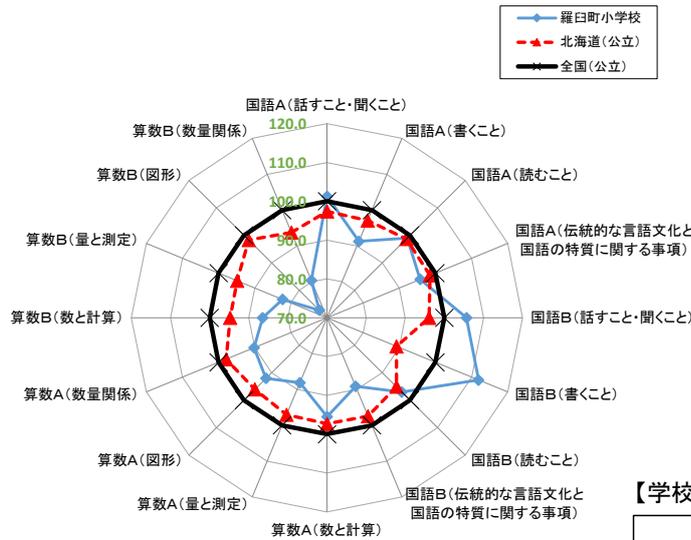


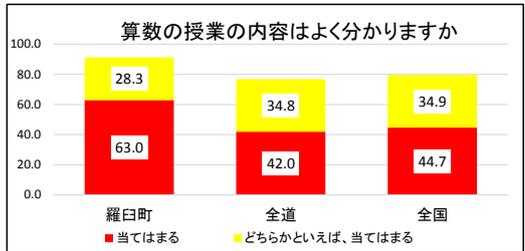
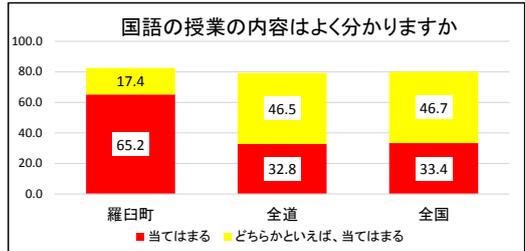
■ 羅臼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:45名)

【教科全体の状況】

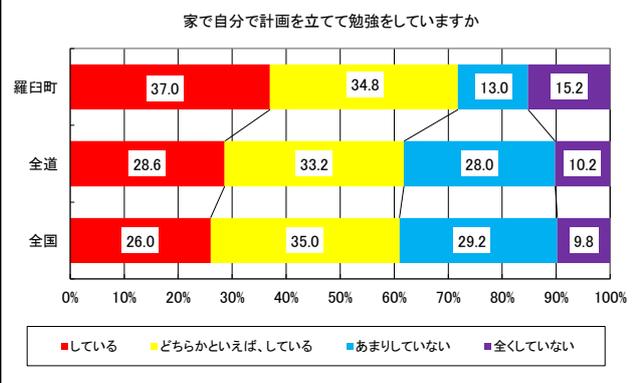
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



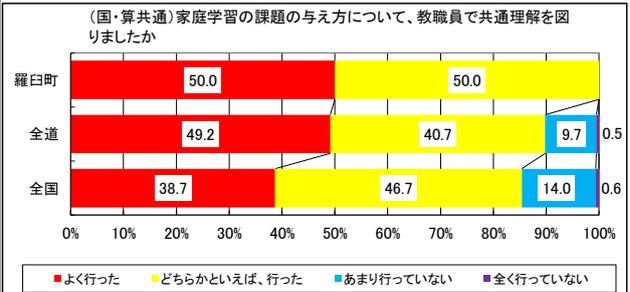
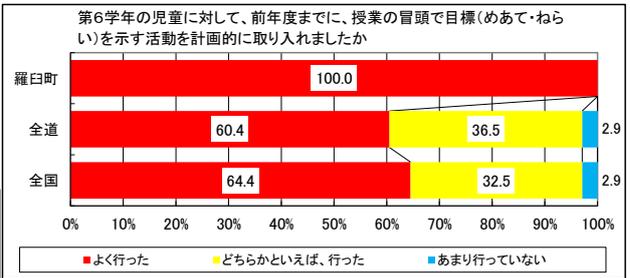
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A、B「話すこと・聞くこと」、国語B「書くこと」が全国以上である。	○ 各学校で授業の冒頭で目標を示す活動を計画的に取り入れることなどにより、国語、算数の授業の内容の理解が深まりつつある。また、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図り、全校的な取組を進めることなどにより、家で自分で計画を立てて勉強していると回答する児童の割合が昨年度より高く、全道、全国より高くなるなど、家庭学習の習慣が定着しつつある。
児童質問紙	○ 「国語、算数の授業の内容がよく分かる」と回答する児童が全道、全国と比べて多い。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答する児童が全道、全国と比べて多い。	
学校質問紙	○ 「授業の冒頭で目標を示す活動を行った」、「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った」と回答する学校が全道、全国と比べて多い。	

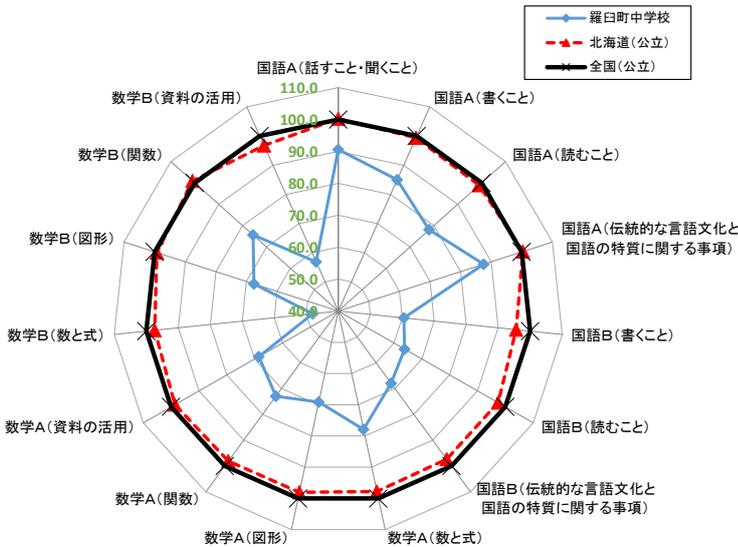
【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 分かる授業の展開を図る教職員研修の充実
- ◎ 学生ボランティアの活用
- ◎ PTAと連携した生活習慣、学習規律の確立

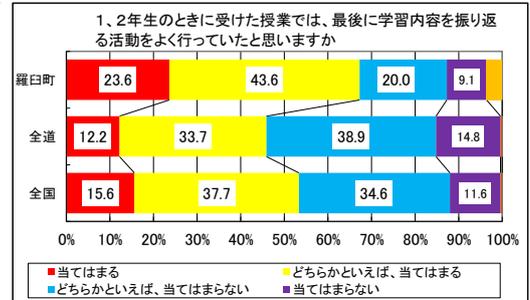
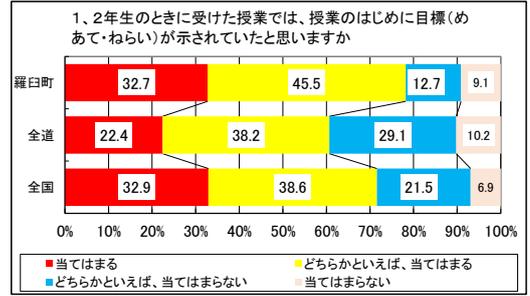
■ 羅臼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:55名)

【教科全体の状況】

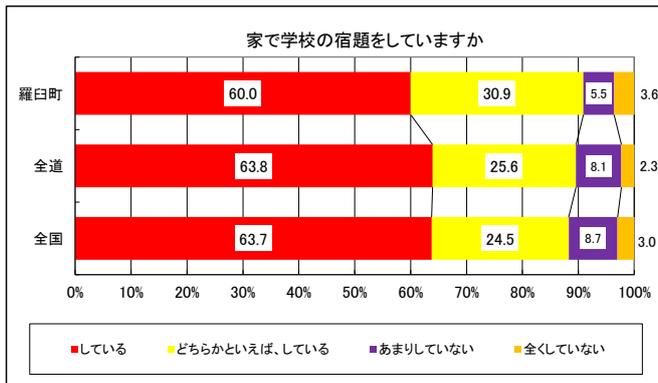
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



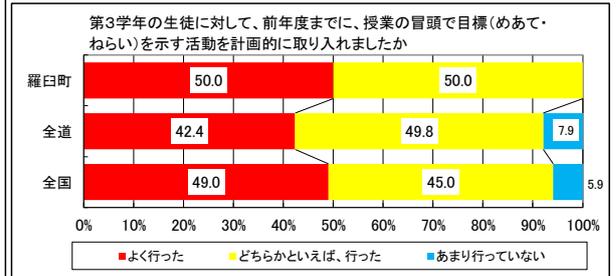
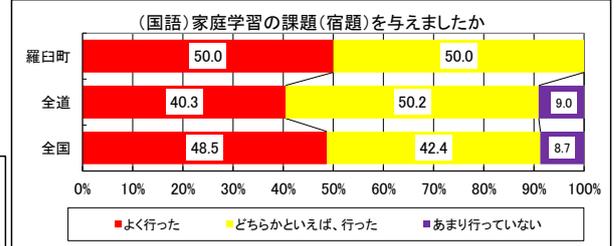
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が他の領域に比べて全国との差が小さい。	○ 各学校で授業の冒頭で目標を示す活動や授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れることなどにより、授業改善が図られつつある。また、家庭学習の課題を与える取組を進めることなどにより、家で学校の宿題をしている、どちらかといえばしていると回答する生徒の割合が昨年度より高くなるなど、家庭学習の習慣が定着しつつある。
生徒質問紙	○ 「授業のはじめに目標が示されていた、どちらかといえば示されていた」、「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行った、どちらかといえばよく行った」と回答する生徒が全道、全国と比べて多い。 ○ 「家で学校の宿題をしている、どちらかといえばしている」と回答する生徒が全道、全国と比べて多い。	
学校質問紙	○ 「国語で家庭学習の課題を与えた」、「授業の冒頭で目標を示す活動を計画的に取り入れた」と回答する学校が全道、全国と比べて多い。	

【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 分かる授業の展開を図る教職員研修の充実
- ◎ 学生ボランティアの活用
- ◎ PTAと連携した生活習慣、学習規律の確立